

2008年 第40回 日本オプティミストセーリング選手権大会／海陽

ハル重量計測について

1. 乾燥状態

① 計量は原則として乾燥状態で行われます。

乾燥したハル → 計量します。

② ハルが水滴などで濡れている場合は乾燥状態とは認められないので、できるだけ水分を除くようにして下さい。**濡れているハル → 計量しません。**

③ ウェスなどで水分をふき取った状態では半乾燥状態と判断されます。

湿った状態のハル → 計量を行います、水分が含まれているので、補正重量として450gを水分として計測値より差し引きます。

※ ①②③の状態は担当の計測員が判定します。

※※ ③の状態で450gの補正計算を納得できない艇は①の状態になるまで待って再計測します。

2. 計量時に取り外すパーツ

アップバッグと永久的に取り付ける事が認められたパーツ以外は全て取り外す事が原則ですが、計量作業の流れをスムーズに進める上で下記の要領で行います。

① **ダガーボード押さえのショックコード → 取り付けたまま**

② **もやいロープ → 取り付けたまま、床にたらず。**

※ ①②はハル重量が35kgジャスト、やジャスト付近の場合は担当計測員の指示に従って下さい。

③ **取り外し可能なデッキブロック**

大 → 150g 中 → 100g 小 → 50g

として換算し計量値から差し引く補正すれば、取り付けたまま計量する事ができます。

3. 補正重量物(木片)

35kgより軽い艇は補正重量物として木片を取り付けます。公式計測員が木片にサインを行った後、完全接着するまでテープで仮止めします。3時間ほどで接着しますので、仮止めテープをはがして下さい。公式計測員にサインされた木片を取り除く事ができるのは、公式計測員の立ち会いで行われる計量時です。重量計測をしない大会でもルールを守って欲しいので勝手に取り外してはいけません。また、過去に取り付けられた木片については今回が再計測となりますので、その結果35kg以上であることが確認されれば、取り外す事が可能です。

2008年9月30日

大会計測委員会